

朋子 仕事を続ける女性

田中美穂 結婚して専業主婦で、子育て中 娘一人 ゆみ

立場も年も違うけど長年の親友同士。年に4回。ほぼ欠かさず「定例会」を開いて、二人で会っている。

二人：（二人乾杯をしながら）久しぶり～！

朋子：前回、直前でキャンセルしてごめんね～。

美穂：そうだよ！こっちは朋子と3ヶ月に1回飲む時くらいしか、毒吐けないんだからさあ。

朋子：ママ友とかと食事会とか飲み会とかしてるでしょ？

美穂：してるけどさあ。みんな近所だし。ダンナも繋がってたりするから……

朋子：下手なこといえないか。

美穂：うん、そー。……お仕事大変？

朋子：まあ大変と言うか、前回の直前キャンセルもさあ、突然若い子が一人辞めちゃって、しばらく残業確定になっちゃったからだったんだけど。若い子は突然辞めるし、上は上で昔のやり方でゴリ押ししてくるし。

美穂：わあ、中間管理職！

朋子：ほんと！令和なのに昭和と平成の板挟みですわ！……美穂は？専業主婦は最近どうですか？

美穂：んー。相変わらずだなー。ダンナも子供も、靴下脱ぎっぱなしとか、カバン、玄関に置きっぱなしとか、何でもかんでも言わないとやってくれないととかさ。朋子の話に比べたらスケールはちっちゃいけどさ。

朋子：スケールなんて関係ないでしょう。ストレスはストレス！吐き出せ！吐き出せ！

美穂：うん……ね。

朋子：何！？元気ないんじゃない？

美穂：うん……それがさあ、もう先々週なんだけどさあ、ダンナのお父さんが突然倒れちゃってさあ。

朋子：えー！？

美穂：いや。今の所、命には別状はないんだけど、まだ入院してて……

朋子：長引きそうなの？

美穂：ううん。倒れた時にあちこち打っちゃっただけで、もうすぐ退院できそう。

朋子：ああ。よかった。

美穂：でも、病院にいるお父さんがさ、なんか二回りくらい小さくなっちゃったみたいで。

朋子：ああ……まあ、私たちがこの年なんだから、親も年取るよね……。うちの親も今はまだ元気だけど、いつまで元気か……。

美穂：ね……。うちも……。でもさあアイツ、自分の親が倒れて入院してるので、一回も病院来ないの！一回もだよ！？

朋子：うわあー。向こうのお母さんは？

美穂：お母さんは頑張ってくれてるんだけど、足が悪いからさあ。

朋子：外出が大変なんだっけ？

美穂：そう。つーかそもそも、アイツの親じゃん？ちょっとくらいなんかやれ！とか思うじゃん？

朋子：まあ。そうなるねえ。

美穂：それに、この先、寝たきりとかになっちゃったらさあ、私、全部やらされそうな気がしてきてさあ。

朋子：確かに。それは気が重いわ……。でも、いざとなったら施設とかもアリじゃない？

美穂：まあ、お金はね。なんとかなると思うけど。それにしてもいきなり施設にドーン！とはいかないでしょ？私、専業主婦で、向こうの実家と家、近いのに。

朋子：まあ、そうかあ。でもまあ、今日明日ってわけじゃないならさ、いい機会だし、ダンナともお父さんお母さんとも、そういう話、したらいいんじゃない？

美穂：まあそうだね……。

朋子：何？まだなんかすっきりしない感じ？

美穂：いやあ、前々からなんだけど、今回の件で益々さあ、なんていうか、私ってなんなんだろうって。

朋子：「なんなんだろう」とは？

美穂：んー、こう、なんていうか……。

朋子：なんていうか？

美穂：その……ダンナのさ、親の面倒とか見るのはさあ、まあしょうがないよ。結婚したんだし。

朋子：うん。

美穂：でもさあ、「ゆみちゃんママ」だの「田中さんの奥さん」だの「田中さん家のお嫁さん」だのってさあ、私は娘やダンナの付属品じゃねえってゆーかさあ。

朋子：おお！そっちか！

美穂：まあね、専業主婦で、食わせてはもらってますから。ある程度は仕方ないんですけど。でも、私だって家事に子育てに、向こうの親の面倒だってみてるわけですから。

朋子：……ゆみちゃん、いくつだっけ？もうだいぶ大きいよね？

美穂：春から小6。

朋子：えーじゃあ、美穂もパートでもしたら？

美穂：パートしたーい。

朋子：やれやれー！

美穂：でも、私、仕事辞めて15年くらい、何もしてないよ。大丈夫かなあ？

朋子：専門的な仕事じゃなければなんだってできるでしょ。

美穂：まあ仕事は慣れればね。でも人間関係とかがさあ……。

朋子：そんなの、ママ友とかと人間関係やってるでしょ？そっちの方が大変そうだけど。

美穂：ママ友はさあ、元々共通の会話があるし。それに嫌われなきゃいいだけだから。それ以外は適当にやっておけばいいからさ。

朋子：適当でいいんだよ。仕事に行くんだから、仕事さえちゃんとやってれば。それ以外は適当で。

美穂：うーん。

朋子：何がそんなに心配なの？

美穂：心配というかさあ。漠然と？ 続けられるかなあとか？

朋子：ああ……じゃあさ、目標とか決めれば？

美穂：目標？

朋子：自分で働いて、あれ買うぞ！とかさあ。

美穂：あ～。目標かあ……二人で温泉行こうか！

朋子：おお！いいねえ！じゃあ、次の冬に、露天風呂で雪見酒！

美穂：わあ～！それいいねえ！

朋子：お湯に浸かったまま、飲めるところ探そうよ！

美穂：お～！なんか急にやる気出てきた！

朋子：その意気だ！悩んで答えのでる悩みなんかないぞ！

美穂：ほんと、そうだよね！私、朋子がいてよかったわ。

朋子：そんなのお互い様です。

朋子、グラスを手に持って乾杯の準備。

それをみた美穂、グラスを持って

美穂：これからもよろしくおねがいします。

朋子：こちらこそ。

二人で小さな乾杯。